



知的障がい

18歳くらいまでの発達期において、知的な能力が年齢相応に発達していないため、何らかの特別な援助を必要とする状態です。「言葉を使う」「記憶する」「抽象的なことを考える」ことに時間がかかることが主な特徴です。原因が不明な場合が多く、明らかな場合も人それぞれ異なります。障がいの表れ方にも個人差があり、漢字の読み書きや計算が苦手だったり、一つの行動に固執したり、同じ質問を繰り返したりする人もいます。



▲目の不自由な方のための音声コード



▲目の不自由な方のための音声コード



はいりよ
配慮

こんなサポートがうれしい!

ゆっくり簡単な言葉で話し掛けてください。

「一方的に話す」「ひとり言を言う」「同じ言葉を繰り返す」など、コミュニケーションがうまくとれません。そのようなときは、内容が理解できるようにできるだけ短い文章で、身振り手振りを交え、ゆっくり簡単な言葉で話し掛けてください。

パニック行動が起きたら落ち着ける場所に誘導してください。

予定が急に変更になったり、大声で注意されたりするなど、見通しが立たないこと、予想外のことが起きると、柔軟に対応できず「泣きわめく」「飛び跳ねる」などのパニック行動が起きることがあります。このようなときは、落ち着ける場所に誘導してください。

危険なことが分からない場合があります。優しく知らせてください。

「赤信号でも渡る」「車が来ても避けられない」「断機が下りても線路に入る」など危険が分からない、助けを求めることができない場合があります。そのようなときは、優しく声を掛け危険であることを知らせてください。

思い込みで判断せず、見守ってください。

障がいが軽度の場合、会社で働いている人も大勢いますが、中には「通行する人を無表情で見ている」「ぴよんぴよん跳ねたりする」「一つのことにこだわる」など、誤解されやすい行動をとる人もいます。思い込みで判断せず、温かい目で見守ってください。

事例

例えば、こんなことがあります。

知的障がいのある人の中には、コンビニやスーパーに入ったとき、勝手に商品を並べ替えたり、開封したりする人がいます。また、「代金を払う」という考えが理解できず、お金を払わず商品を食べてしまう人もいます。これらの行為を、店員に気付かれないよう「こっそり」とするのはではなく「堂々と」している人を見かけたら、知的障がいのある人かもしれないので、ゆっくりと優しい口調で話しかけてください。そして、近くに家族や支援者がいないか確認してください。



【相談＆問合せ先】

一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会

※詳しくは、障がい福祉関係団体一覧(P40)又は相談機関一覧(P42)をご覧ください。